

コミュニティ・スクール（CS）チェックシートの手引き

このコミュニティ・スクール（CS）チェックシートは、「本校の学校運営協議会は、適切に運営できているのだろうか？」「学校運営に活かされる協議をするためには、何を改善すればいいのだろうか？」という声に答えるために作成しました。学校運営協議会を設置した学校（コミュニティ・スクール）の協議会運営の状態について、重要だと考えられる6つの要素にて構成しています。

学校運営協議会委員等のコミュニティ・スクール関係者に御覧いただき、「チェックシート」の内容をもとに、現在の運営状況や今後の運営に必要なことを確認し、協議会運営の充実・改善につなげていただきたいと思います。

1 チェックシート【Excel ファイル】の各項目について、選択肢をそれぞれ選択してください。

コミュニティ・スクール（CS）チェックシート

1) あなたが学校運営協議会の委員として関わる学校名を入力してください。

◆立◇◇学校

2) あなたが参加する学校運営協議会について、各項目がどれだけあてはまりますか。

指標	回答番号	チェック項目	選択肢（それぞれ1つを選んでください。）			
自律性	1	学校運営の基本方針の承認にあたり、学校運営協議会委員による議論を行っている。	<input type="radio"/> 1. あてはまらない	<input type="radio"/> 2. どちらかといえばあてはまらない	<input type="radio"/> 3. どちらかといえばあてはまる	<input type="radio"/> 4. あてはまる
	2	学校運営について、意見（よりよい学校運営につながる意見）を述べる機会がある。	<input type="radio"/> 1. あてはまらない	<input type="radio"/> 2. どちらかといえばあてはまらない	<input type="radio"/> 3. どちらかといえばあてはまる	<input type="radio"/> 4. あてはまる
	3	教職員の任用について、意見（学校経営ビジョンを後押しする意見）を述べる機会がある。	<input type="radio"/> 1. あ	<input type="radio"/> 2. どちらかといえばあ	<input type="radio"/> 3. どちらかといえばあ	<input type="radio"/> 4. あ
	4	教職員は、学校運営協議会の意見をふまえた学校運営を行っている。	<input type="radio"/> 1. あ	<input type="radio"/> 2. どちらかといえばあ	<input type="radio"/> 3. どちらかといえばあ	<input type="radio"/> 4. あ

4段階から1つを選び、「○」（オプションボタン）をクリックしてください。

2 チェックシートで選択された回答データは、チェックシート【Excel ファイル】の「回答データ」シートに表示されます。

回答データ

「学校運営協議会の運営」指標	選択した値の合計（pt）	割合（％）
①自律性	11	55.0%
②対等性	12	60.0%
③持続性	11	55.0%
④熟議度	14	70.0%
⑤実行性	11	55.0%
⑥共有性	12	60.0%

- 3 レーダーチャート【Excel ファイル】の「集約」シートにある回答データ集約表にコミュニティ・スクール（CS）チェックシート【Excel】の「回答データ」シートにある値をコピー＆ペーストしてください。

回答データの集約表				
「学校運営協議会の運営」 指標	①A委員の 割合 (%)	②B委員の 割合 (%)	③C委員の 割合 (%)	④D委員の 割合 (%)
①自律性	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%
②対等性	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
③持続性	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%
④熟議度	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
⑤実行性	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%
⑥共有性	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%

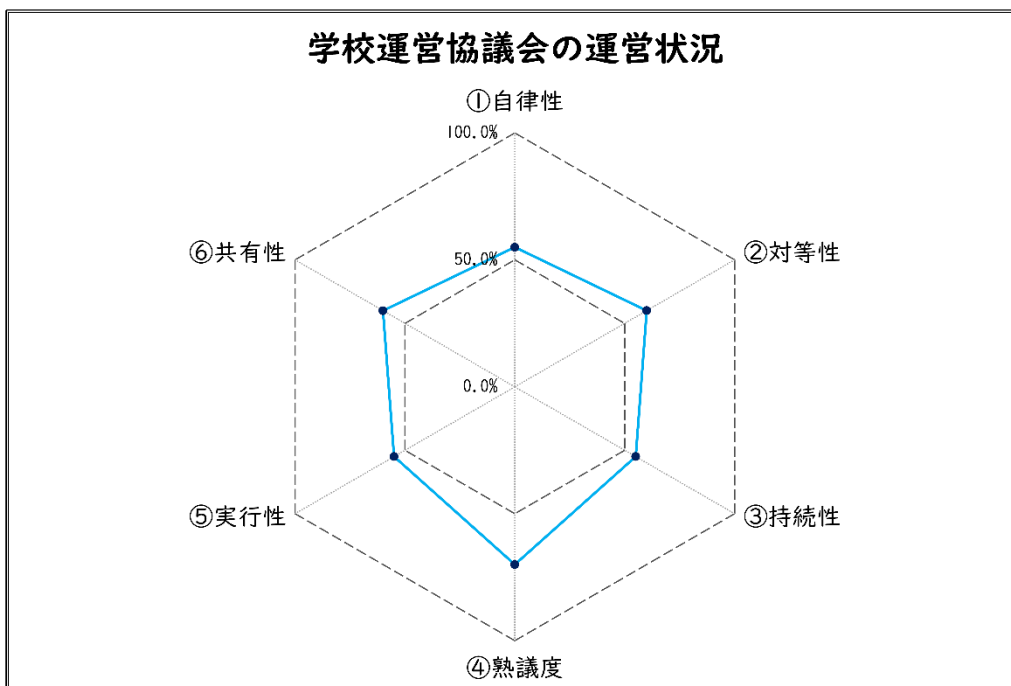
※最大で15名分のデータをコピー＆ペーストすることができます。

- 4 各委員のデータをコピー＆ペーストすると、自動的にレーダーチャート図が完成します。

学校運営協議会の運営状況

「学校運営協議会の運営」指標	割合 (%)
①自律性	55.0%
②対等性	60.0%
③持続性	55.0%
④熟議度	70.0%
⑤実行性	55.0%
⑥共有性	60.0%

レーダーチャート図

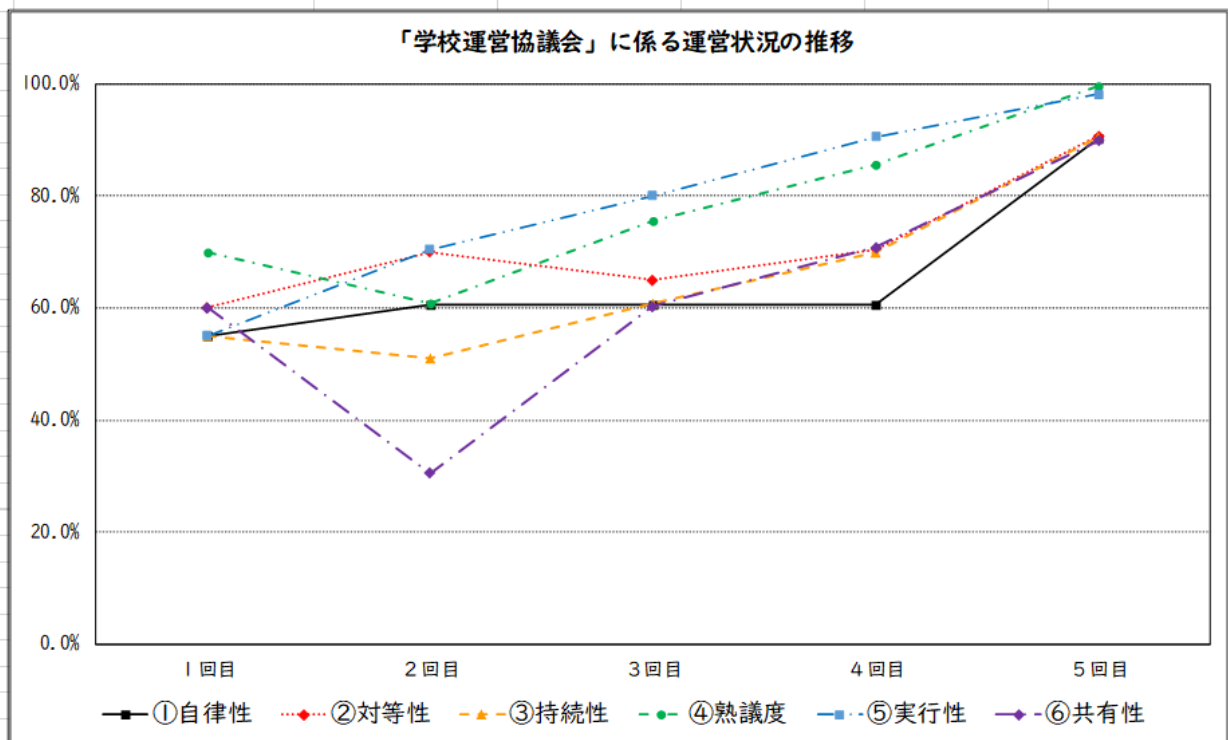
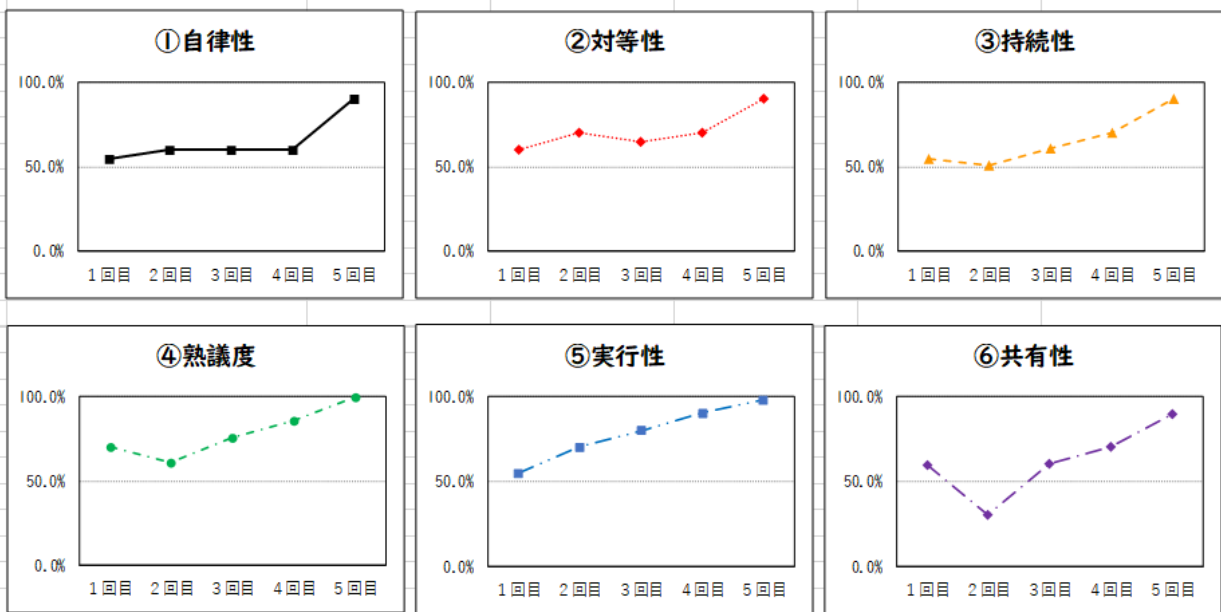


5 経年で実施された場合は、過去に作成した学校運営協議会の運営状況データを推移グラフ【Excel ファイル】の「学校運営協議会の運営状況の推移」にコピー&ペーストすると経年比較ができます。

「学校運営協議会の運営」指標	結果の推移				
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
	令和◆年◆◆月実施	令和◇年◇◇月実施	令和○年○○月実施	令和△年△△月実施	令和▲年▲▲月実施
①自律性	55.0%	60.5%	60.5%	60.5%	90.2%
②対等性	60.0%	70.0%	65.0%	70.5%	90.6%
③持続性	55.0%	50.9%	60.9%	70.0%	90.4%
④熟議度	70.0%	60.7%	75.5%	85.5%	99.5%
⑤実行性	55.0%	70.5%	80.0%	90.5%	98.1%
⑥共有性	60.0%	30.5%	60.3%	70.8%	89.8%

※折れ線グラフは自動的に作成されます。

「学校運営協議会」に係る運営状況の推移【指標別】





Q： どのような場面で、このコミュニティ・スクール（CS）チェックシートを活用することができますか？

A： 主に学校運営協議会での活用を考えています。

年度当初に委員同士で学校運営協議会を運営するための視点について確認し合うことで、共通理解を図ることができます。

年度途中や年度末の学校運営協議会には、実際にCSチェックシートを実施し、次年度の協議会運営の充実・改善に活かすことも可能です。

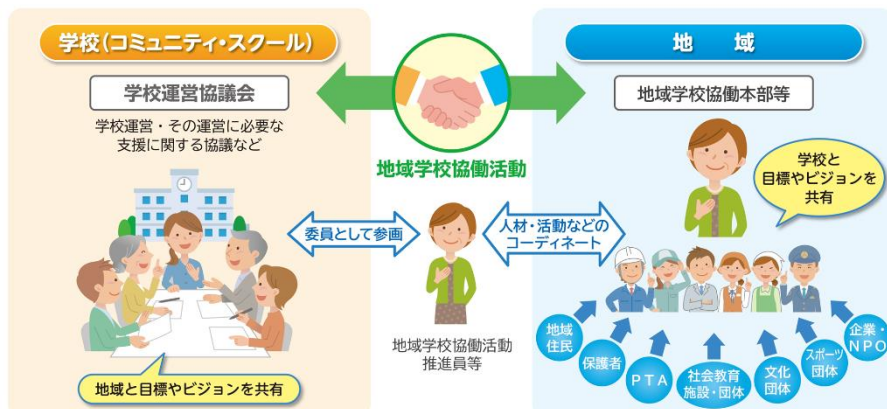
また、推移グラフを作成することで、各校における学校運営協議会の運営状況がどのように変化してきたのかを確認し、学校運営協議会の質的向上のための改善・解決策を見出す手がかりとして役立てることも可能です。



Q： コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していくためには、どのようなことが大事になってきますか？

A： コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには、まず関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、学校運営協議会の協議や熟議等がその役割を果たします。その結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化につながります。

学校運営協議会と地域学校協働本部等は、それぞれがもつ役割を十分に機能させ、一体的に推進することで、相乗効果を発揮し、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいくことが期待されます。



Q & A



Q： 学校運営協議会の委員が当事者意識をもって意見を述べるためには、どのようなことが大事になってきますか？

A： 学校運営協議会の委員が当事者意識をもって意見を述べるためには、教職員と保護者・地域住民との対話や熟議によって「学校・地域の現状や課題を把握し整理したうえで、「目指す児童・生徒像」を設定すること、そして「目指す児童・生徒像」の実現のために、学校・家庭・地域が実行すべきこと（役割分担）を明確化していくことが重要です。

また、保護者・地域住民等が学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」と保護者・地域住民が学校と連携・協働するための「地域学校協働本部等」において、効果的かつ持続可能な学校運営と地域学校協働活動の仕組みを構築していくためには、学校運営協議会と地域学校協働活動のそれぞれのPDCA（計画→実行→評価→改善）を回しつつ、お互いに連携・協働することが大事になってきます。



目指す児童・生徒像の設定について

コミュニティ・スクールで「目指す児童・生徒像」を設定し、その実現に向かっての取組を検討する過程で「そのことを大人は、きちんとできているのか？」という問いが生まれてきます。そして、大人もその姿を目指そうという動きが生まれてきます。

また、将来の地域を担う子どもたちの姿、いわば将来の地域の姿を思い描いていると、実は近い未来、今の大人たちの姿が変わってくるということが起こります。

「目指す児童・生徒像」は“子どもたちのため”と思われがちですが、実は、目指す未来の地域の姿（遠い未来も近い未来も含む）を考えることにつながっていることが、全国のコミュニティ・スクールの取組から見えてきています。